

秋の遊び～自然物を使って遊ぼう！～

秋は戸外遊びが楽しい季節です。草花や木々の紅葉、木の実、秋の虫、空の雲など、季節の変化を感じるものがたくさんあり、子どもにとってはさまざまな発見ができます。今回は、秋の自然物を使った楽しい遊びを紹介します。

自然あそびって、どんなところがいいの？

自然あそびの良さは、まずは、命に直接触れ合えることです。同じ木の葉っぱでも1枚1枚色も形も違うように、自然の命は皆、多様性を持ち、一つとして同じものはありません。子どもも自然と同様、一人ひとり大切な命を持ち、皆違う個性を持っています。自然あそびを通して、ゆっくりと多様な命に向き合うことで、親も子どもも大切なことを自然から学ぶことができます。

また、自然あそびは五感を豊かにしてくれます。自然には、人工物にはない色や形、触り心地や匂いがあります。小さな時に会った五感の記憶は、しっかりと残るのです。知識だけで覚えたことは、忘れてしまうことも多いですが、大好きだった花の匂いや、葉っぱの感触は大人になっても覚えていますよね。この五感の記憶は、就学後に知識と合わさることで、子どもの力がぐんと伸びる大きな助けになります。机の上だけでなく、実際に体験したことで、より確かな力になるのです。



自然あそびって、どうやって楽しむの？



自然と触れ合う中で、ワクワクドキドキする発見が子どものやる気や好奇心を高めていきます。たくさんの知識よりも、その思いに寄り添う大人の存在や、共感し合う関わりが、子どもには必要なのです。「きちんと教えないきゃ」と気を張らず、大人も楽しみながら、もっと楽な気持ちで子どもや自然と接してみることが大切です。また、子どもの好きなものを通して、自然と友達になるきっかけを作っても良いですね。例えば、子どもの好きな絵本を読み聞かせたり、ままごとセットを外に持ち出して、草花や枝、石や砂などを材料にして遊んだりしてもいいですね。子どもの好きな事が、自然への興味を繋いでくれますよ。

秋の自然物を使った遊び

① 落ち葉アート

様々な形の落ち葉を自由に画用紙に貼って遊びましょう！

子どもによって好きなように貼っていく子もいれば色ごとに並べる子、うまく葉っぱを使って何かを表現する子等など、様々で面白いですよ。



② 木の実ケーキ

カップに紙粘土を敷き詰め、その上に木の実や木の枝等を自由に飾ります。



③ ひっつきむし集め

“ひっつきむし”と聞いて「なつかしい！」と思った人も多いのではないのでしょうか。よく見るひっつきむしは、『オオオナモミ』と『アレチヌスビトハギ』。服に着けて、模様や顔に見立てて遊ぶのが面白いですよ！

<この時期に読みたい オススメの絵本>

『ばけばけばっぱ』
 写真・文：藤本ともひこ
 出版社：ハッピーオウル社



たくさんの落ち葉の中には、葉っぱと木の実でできた動物が隠れています。一緒に「ふーっ」と息を吹きかけて遊びながら読み聞かせできるので楽しいです。色々な葉っぱがあるので、少しずつ違う色を見比べるのも絵本の新しい楽しみ方になりそうですよ。

今回は、「冬の遊び」についてです。

参考資料：学研おやこCAN 自然あそびQ&A
https://www.oyakocan.jp/tokushu/201507_2.html
 ほいく is 秋は自然遊び素材の宝庫！
<https://hoiku-is.jp/article/detail/617/>